

常磐文藝

豊間にて 町田みつる

一すじの燈臺の火の海に遠く消ゆゆく淋しき夕

山に高く白亜の塔の其上に淡く輝く海をらす火よ

松原にふと近よりて又遠く後の方へ消ゆゆく人影

朝まだき海に出て聞ぬ漁夫達の潮にかれたる大なる聲

しばらくに白砂にまろびマンドリン、弾く夜うれしや我胸かろしも

白砂の路に行き行く若人の淋しき瞳忘れ得ぬかな

青白き君が御手にぬくもれる一据の砂さらさらこぼる

白砂に深く刻める君が御名を海の遠へにもち行きし波

よせてくる波に消え行く君が御名を淋しく見つむ我なりしかな

秋風が立つて参りました夜具のお手入は今です!!皆様の御便宜をばかり

布團縞。綿の特賣

いたします

◇本紡布團縞その外新銘仙、秩父、八端等の新製品は澤山取揃へてございませす

各品は親切に價は勉強

丸又久野商店

平町三丁目

精進院葬送の際は遠路御會葬被成下

且御鄭重なる御香奠を賜り御芳志之

段難有御禮申上候實は拜趨の上御厚

禮可申上處乍略儀以紙上御禮申述度

如斯御座候 敬具

大正十四年九月十二日

齊藤 同安

親戚 藤一

鐵道省 御指定 仙台高等工業學校 試驗證明

萬年瓦

萬年瓦工業株式會社

福島縣四會町 電話三八番

電話開設御披露

番號	町名	氏名
六四二	丁一目	大平屋藥舖
六四六	見月町	米穀商醬油味噌醸造元 根本品藏商店
六三〇	長橋町	常磐毎日新聞社

今般電話架設開通仕候間是非御利用の上倍舊の御愛顧御引立の程奉懇願候

お醬油の御用は

増設 電話 一〇番へ

塩屋

古山崎本店營業部

電話 營業部専用一〇番 一般用二七番

滋養 カルミン 明治製菓會社

代理店 マツモトヤ



貸家

五丁目 四圓

白銀町 七圓五錢

仲間町 六圓

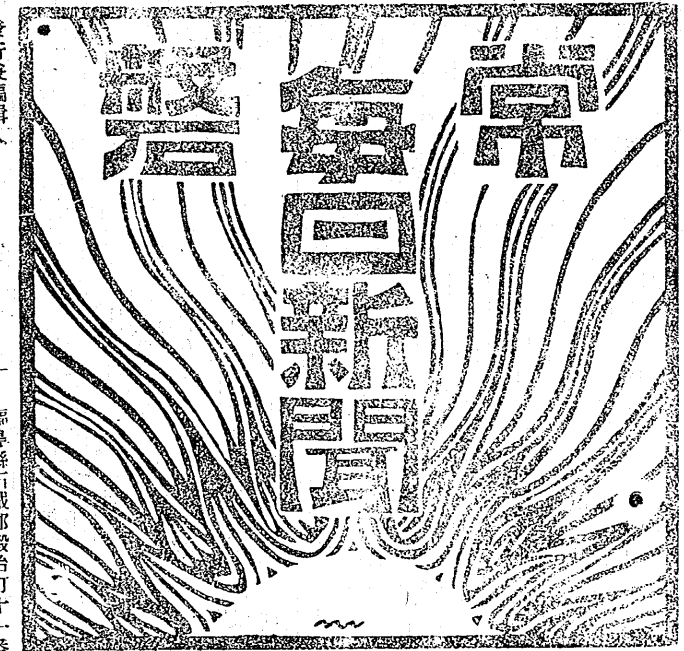
櫻町 九圓

賣地

舊城跡二ノ丸、本丸 五丁目表通り

加藤營業所

平白銀町電話三三番



刊夕日二十月九

常磐論壇

婦參は無意義

田中五郎

女子の參政權は政治を進步さすと考へる愚者が多い、然し、カイゼルを殺せと叫んだ時のロイドデホルジの與黨に壓倒的多數を與へたのも、ポールドロインを首相に祭り上げたのも英國婦人ウイールソン夫人に對する反感から故のハーディングに未曾有の投票を與へたものは米國婦人ヒンデンブルヒを新獨逸の二代目大統領たらしめしは獨逸婦人であつ

た。獨逸社會黨は夙に婦人參政權に賛成し、中央黨は極力反對し來つたが、婦人解放の結果得票を得ること比較的に多かつたのは却て後者であつた故に婦人參政權は進歩に貢獻せず寧ろ退歩に寄與する

佛國の進歩的政治家は常に婦人參政權に反對した。婦人の參政權は直にカトリック僧侶の選出を意味し、政教分離の進歩主義は消滅する。ブリアン等、政教分離の闘將は進歩主義の爲めに婦人參政權に反對せざるを得ぬ

婦人參政權は婦人の社會的地位の増進に寄與せず、社會の進運にも害がある、男子は其の爲す所に依り婦人は其の爲人により價値がある。男女は進むべき方向を異にする、女子は男子に後れたる故に追附くべしと考ふるは愚である。男女の異質的發展と相互的補足とせらるゝ若し男女の平等が二者の均一化にあらば此は兎ふべきである婦人參政權に依つて得る所ある者は東西の本願寺のみであらう



發行兼編輯人 川崎文治

印刷所 本報專屬印刷所

福島縣石城郡殿治町十一番地

酒と飲み家庭に乳兒の

死亡率が甚だ多い

御産病氣は春と秋に

平看護婦會調査

年百年中産婦の分娩や病人の看護の任に當つてゐる平町南町平看護婦會の調査によると

病人の 最も多いのは

春秋の二期で夏分は最も少く分婉も毎年八月は殆んどないと言つてもよいと言位で十一月から三月が最も多い時期で年齢から言ふと二十五六歳から三十五六歳が多く中には五十歳位になつて

初産の 者もあり同

會に於ては異状妊娠をしては斜位を除いては取扱つた事なく之は全く稀で全國に於ける統計でも四分の一位であるとして酒飲みの家庭と酒を飲まぬ家庭とに於ける乳兒の死亡率は酒を飲

家庭は

飲まぬ家庭の殆ど二倍に達すると尙乳兒の最も完全に成育するのは農村の家庭であり精神労働者の乳兒は死亡率が殆ど倍數に達し成長後の体格などに於ては全く比較にならぬと

激浪の爲め

難破船は其儘

人影だになき難破船の漂流は昨記の如くであつて磐城丸は調査の爲め昨日富岡港

満鮮の旅から... 郷里に一筆啓上 滿鮮視察に向つた平町諸橋守次、鈴木卯三郎、平窪村松本徳一の三氏から六日附を以つて大邸發信の左記たよりがあつた、 雨が降るドラがなる沖が荒れてゐるぞ、海上八時間だ、それウ井スキーを呑め、ベツトに入れ、たれかベツトからごらん、落ちたぞ、イヤー釜山についた、朝鮮に來た氣持がしないぞ、自動車で市中を見物、九時卅分京線に乗る、汽車は内地よりいなあ、今車中京線に向ふ大邸についた十分間停車

吉野氏の人格と濱通の得票

本縣に於ける多額議員選舉の結果は昨報の如く四百四票吉野周太郎氏、八十三票橋本萬右衛門氏と各得票數も大體豫想通りの

當選を 見た即ち得

票に於ては二十一票の勝を制したる吉野氏が各方面に於て優勢であつた事は蓋し自明の理であるが殊に濱三郡を區域とする第三選舉分

石城郡 十五票合計

二十五票中相馬郡佐藤鐵藏氏の棄権一票を除きたる正味二十四票の内橋本氏が總票數の十分の一にも達せざる僅々二票を得たるに過ぎざるに反し吉野氏が

相馬郡

八票石城郡十四票合計二十二票の絶對多數を得たるは以て吉野氏の人格を窺知するに充分な

平の免囚保護事業に

有志の熱誠なる援助

宮崎檢事を會長とする平自營會は明十三日(大正元年)恩赦令發布日一が全國司法保護事業普及宣傳ポスターを各處に配布したが同會は今日の社會事業として尤も急務なる刑餘者刑の執行猶豫者、起訴猶豫者等の保護むべき人々の爲め求職の世話、歸國旅費の給與等保護善導に盡すものにして一般より其事業擴張の必要を認められ來り優良保護團體として一昨年來三回御内帑金

篤志家の同情

御下賜の御沙汰を蒙りこれが記念として財團法人の組織に改めんと基金募集中の處各町村長其他有志の熱誠なる援助篤志家の御同情により其額既に四千七百圓に達し尙ほ續々寄附の申込を受けて居る因に平町及四倉町に於ける主なる寄附者の芳名金額左の如くである △平町(五百圓)山崎與三郎(五百圓)藤橋久太郎(二百圓)漆畑元吉(百圓)千葉彦治(百圓)中野甲藏(百圓)佐藤忠雄(五十圓)梅村馨(五十圓)野崎滿藏(五十圓)江口忠一

川に浮んだ

永戸の若女房

石城郡永戸村大字下永井專治の内縁の妻鈴木サタノ(三)は昨日午前四時半頃小玉川に溺死体となつて浮んだのを通行人が發見其筋に届け出たが同人は産後の肥立悪しく精神錯亂を來たして居たと云ふから多分自殺したらしい

平十三日例会

平町十三日例会は明日午後六時半より平銀行樓上に開催平稅務署長岡部司稅官の所得稅不當決定に對する救濟手續に關する講演あると

飯野修養講演

石城郡飯野村にては青年修養の爲め十三日午後一時より同村小學校にて講話會を開き栗山泰音師の講演を乞ふ筈

美味しい代用食



米の高値のところから幾分でも經濟のとれる極簡単な代用食の調理方を申上げます、代用食として一番用ひ

新子の帽

山が低目 流行の色合

秋風立つて街頭には早くもソフトの帽子がちらばら目に立つて來ました、一体秋は春先と違つて合着の時期は極めて短いので帽子も多くは夏帽からすぐ冬帽へと

移つて

行きます從つてこれから店頭へ現はれる帽子は冬を通せるもので、殊に時の流行を決定する舶來帽は殆ど冬帽で、輸入も九月の初旬から下旬頃まで、既に來てゐる

帽子の 中で目立つ

てゐるのは米國品の活躍です、商賣上手な米國製造家は日本人によく向くつばの狭いこじんまりした帽子を送つて來るので今年に相當に歡迎されさうです、フランス製は清楚な感じではあるが、つばがや、廣いので

日本人

の顔には向かない様な傾きがありますイタリア製のものには總体において米國型と共通したところがあり英國ものは非常に地味に出來てゐます、總体において流行型といへば山はや、

低目で 上へ行つて

つぼんで居りリボンが細くつばは上つて深く大半はふちとりでこぢんまりした型のもので裏付のものも歓迎されさうです、切もつばの前を垂れ後を上げたものも出て來ましたがまだ

一般向

といふよりはかはスポーツマンとか若い者に限られてゐる様です、色合は相變らず茶と鼠であるが茶は赤味の少い薄茶も

相當に

もてゝゐます和製の帽子は大抵まだ向

石城の秋蠶に 秋蠶へイ死續

蠶種が悪い

ふの流行をまねる域にあるので大した變化もないでせう値段は舶來品で普通羅紗七八圓から十五六圓高級品では三十圓から八十圓位までペロア十四圓位から廿四五圓といふところ、和製は三四圓から七八圓まで

平町人事

△九品寺前五〇松崎松六男仁平 △大工町八 渡邊三郎三女ミツ子 △南町一九 佐藤賢松氏二男賢治 △仲間町四五 志賀幸之助氏二男次郎三男三郎